

# 子どもたちが地域の伝統芸能に触れ、親しむ機会の創出について



獅子舞演舞

写真:令和元年5月3日第3回ながの獅子舞フェスティバル



体験コーナー

文化スポーツ振興部 文化芸術課

# 1 伝統芸能の継承

## 必要性

- ・地域の魅力の一つとして受け継がれている伝統芸能に子どもたちが触れ親しむことは、世代を超えた交流が生まれ、感性を磨き、自分が生まれ育った地域への愛着や思いの醸成の形成に繋がり、地域の活力向上も図られる。
- ・伝統芸能の次世代への継承と世代や地域を超えた交流、地域への愛着とふるさと回帰を図るため、文化芸術課に伝統芸能推進室を設置し、継承に向けた支援策を検討、実施している。

## 伝統芸能継承団体調査結果 等 (一部抜粋)

- ・平成30年度に行った伝統芸能団体の活動状況調査では、回答のあった240団体のうちの212団体（88.3%）が後継者不足に悩んでいる状況であり、幼少期から地域の伝統芸能に触れる機会を作ることが大切となっている。また、18歳以上で地域の伝統的な行事に参加している割合も、年々減少傾向にある。

活動における課題 (複数回答可)	項目	回答数	割合
	後継者不足	212	88.3%
	資金不足	153	63.8%
	練習場所の確保	2	0.8%
	発表する場が少ない	12	5.0%
	見てくれる人が少ない	26	10.8%
	その他	29	12.1%

○地域の伝統的な行事に参加している割合（18歳以上）

年度	割合
平成28年度	38.5%
平成29年度	34.6%
平成30年度	34.0%

第五次総合計画アンケート指標調査結果より

※参加しない理由としては、地域の伝統的な行事を知らない、参加したいが機会がないなど。

調査期間 : 平成30年7月20日~9月28日まで  
 調査団体数 : 279団体 (神楽獅子舞256、その他23)  
 回答率 : 240団体 (回答率86.0%)

## 2 第2次長野市文化芸術振興計画

### 文化の継承による魅力ある地域づくりの推進

1 伝統芸能を次世代へ保存・継承する関係団体の活動支援

【目指す状態】

- ①伝統芸能に若者が参加することで、地域の活性化が図られている。
- ②地域の伝統芸能を通じて、地域への愛着を形成している。

## 3 長野市が取り組む伝統芸能 等



発表の場の確保  
情報発信



【地域の伝統芸能】

地域に受け継がれている伝統的な芸能

「ながの獅子舞フェスティバル」

長野市伝統芸能継承事業補助金

(神楽、獅子舞、田楽、風流など)

【伝統芸能】

日本古来の伝統的な芸能

「伝統芸能こどもフェスティバル」

長野市文化芸術祭

(琴、三味線、茶道、日本舞踊など)

アーティスト・サークルバンク

表参道芸術音楽祭

街角アートアンドミュージック

## 4 今年度の主な取り組み

- 1 第3回ながの獅子舞フェスティバル
- 2 伝統芸能こどもフェスティバル（新規）
- 3 伝統芸能継承事業補助金  
対象事業：用具の修理・更新、子ども用用具の購入  
体験教室の開催、指導用DVDの作成等

### 交付実績

年度	件数	金額
平成28年度	33件	2,912,000円
平成29年度	32件	2,724,000円
平成30年度	33件	2,675,000円



## 5 第3回ながの獅子舞フェスティバル

### 事業概要

**目的** 次世代への伝統芸能の継承と世代や地域を超えた交流を目指し、地域への愛着を深め、にぎわいづくりによる交流人口の増加につなげる。

**開催日** 令和元年5月3日（金・祝）

**場所** 中央通り、長野駅善光寺口駅前広場

- 内容**
- ・市内、近隣市町村神楽獅子舞団体による獅子舞の披露
  - ・善光寺平神楽囃子保存会による一斉演舞
  - ・写真コンテストの開催
  - ・御朱印帳スタンプラリー

### 参加団体数

回数	年度	参加団体	備考
第1回	平成29年度	69団体	
第2回	平成30年度	73団体	
第3回	平成31年度	81団体	須坂市3団体、千曲市1団体、高山村1団体が初参加



## 6 伝統芸能こどもフェスティバルについて

新規事業

### 事業概要

- 目的** 次世代への伝統芸能の継承と文化芸術活動の推進による地域の活性化
- 開催日** 令和元年9月22日（日）、23日（日・祝）
- 場所** 長野市芸術館 メインホール、リサイタルホール、アクトスペース、展示サロン等
- 内容**
  - 舞台部門: 日本舞踏、琴、三味線、民謡などのステージ発表
  - 展示部門: 華道、生け花、書道などの作品展示
  - 体験部門: 上記ジャンルに加え、茶道、囲碁、将棋、百人一首などの体験
- 同時開催** 子ども・子育てフェスタ（桜スクエア）

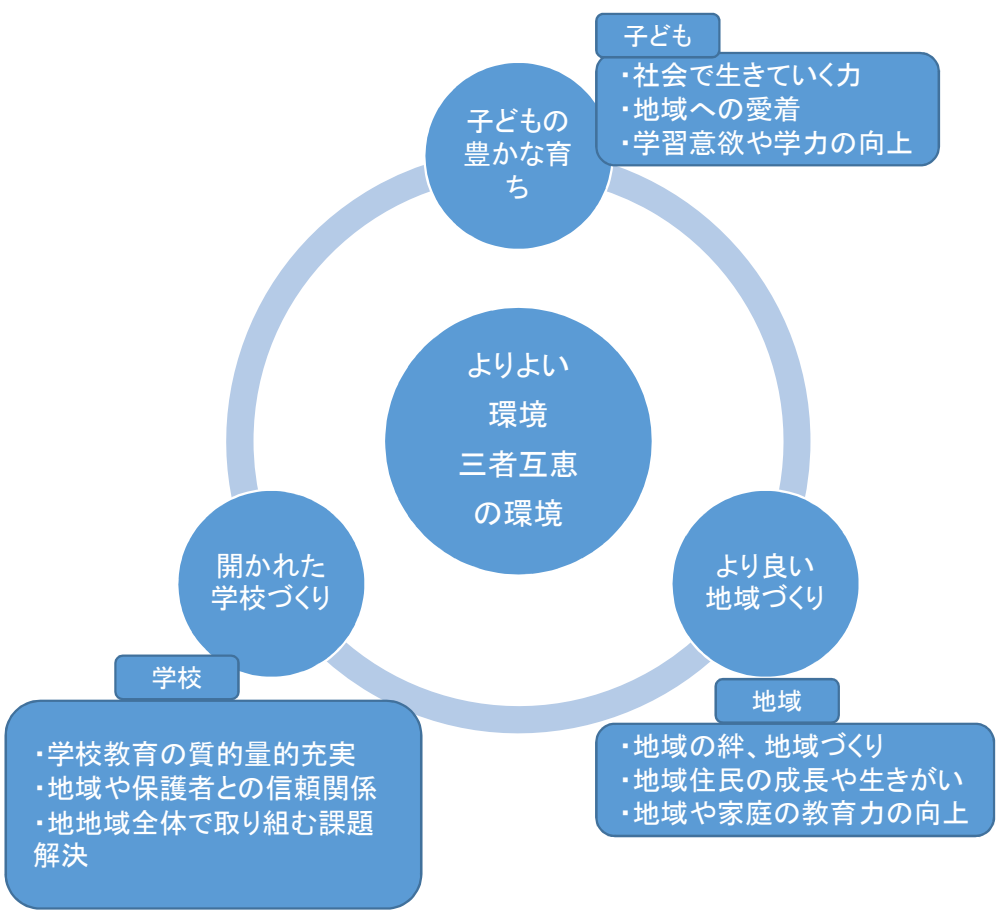
※伝統芸能の定義（文化芸術基本法）  
 雅楽、能楽、文楽、歌舞伎、組踊、その他の我が国古来の伝統的な芸能

イベント内容	
会場	内容
メインホール	日本舞踊、三味線、民謡などの発表
リサイタルホール	日本舞踊、三味線、民謡などの指導・発表
アクトスペース	日本舞踊、三味線、民謡などの体験・指導
展示サロン	茶道、華道、生け花などの体験・展示
リハーサル室	書道、囲碁、将棋、百人一首などの体験・展示
スケジュール	
時期	内容
4月上旬	参加者団体内定（14団体）
4月～5月中旬	全体会議複数回開催
5月中旬	市HP等で参加団体発表と参加子ども募集（以降、各団体による指導）
8月上旬	プログラム、パンフレット等決定
9月22日23日	伝統芸能こどもフェスティバル開催

## 7 学校の取り組み

### 長野市コミュニティスクール

学校と地域が一体となって子どもを育てる仕組みの中で伝統芸能活動が取り上げられ、活動している事例がある。



### 学校支援ボランティア伝統芸能活動（例）

学校名	取り組み内容
長野市立芹田小学校	日本舞踊、能
長野市立三輪小学校	三輪甚句、三味線
長野市立大豆島小学校	大豆島甚句
長野市立芋井小学校	芋井甚句
長野市立長沼小学校	太鼓、琴
長野市立篠ノ井西小学校	太鼓
長野市立清野小学校	舞踊（十万石まつりでの披露）
長野市立寺尾小学校	郷土の踊り
長野市立鬼無里小学校	鬼女紅葉太鼓
長野市立櫻ヶ岡中学校	獅子舞、神楽の体験

出典：平成29年度地域で支える学校サポート活動実践事例集

## 8 今後の取り組み

- 1 発表の場として、ながの獅子舞フェスティバルや伝統芸能こどもフェスティバルに関心を高めてもらうため、広く子どもや、団体、学校、地域へ周知を図っていききたい。
- 2 ながの獅子舞フェスティバルや伝統芸能こどもフェスティバル等のイベントを契機として、伝統芸能に対し子どもたちの興味関心を高める。また、子どもたちが自発的に参加できる動機づけを醸成していききたい。



写真:令和元年5月3日第3回ながの獅子舞フェスティバル